令和３年８月１７日

令和３年度　病害虫情報　第４号

ネギ軟腐病の発生に注意してください

株全体が軟化腐敗し欠株となる

軟化腐敗し倒伏し、悪臭を放つ

写真　軟腐病の症状

1　現在までの発生状況と今後の発生傾向

（１）本病は、初夏から初秋にかけて高温時に土壌湿度が高いと発病しやすく、長雨や、台風などによる集中豪雨などで畑が湛水や浸水すると多発します。

（２）群馬県内では８月１２日から降雨が続きました。向こう１か月の気象予報（８月１２日気象庁発表）でも、期間のはじめは平年に比べ曇りや雨の日が多く、その後は数日の周期で変わり、平均気温が高い確率６０％と予想されています。

（３）現在までの発生量は平年並ですが、すでに発病しやすい天気が続き、今後も発病しやすい気象が予報されているので注意が必要です。

2　防除対策

（１）雨水がたまりやすいほ場は、排水溝を掘りほ場の排水に努めてください。

（２）夏季の高温期に追肥や土寄せ作業をすると、発病しやすくなるので控えてください。

（３）発病後の防除効果は低いので、予防的な防除を重点に行ってくだい。発病が予想される場合には、土寄せ前に地際部を中心に適用薬剤を散布してください。

（４）発病株は取り残しがないように早期に丁寧に抜き取り、ほ場の外に持ち出し適切に処分してください。

（５）窒素肥料を多用すると生育が軟弱になり発病を助長するため、適正な肥培管理を行ってください。

（６）農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。

お問い合わせ先：群馬県農業技術センター環境部発生予察係（病害虫防除所）
ＴＥＬ　０２７０－６２－１０５９